

Ⅲ 救急・救助

第1 救急活動の概況

1 救急業務実施体制

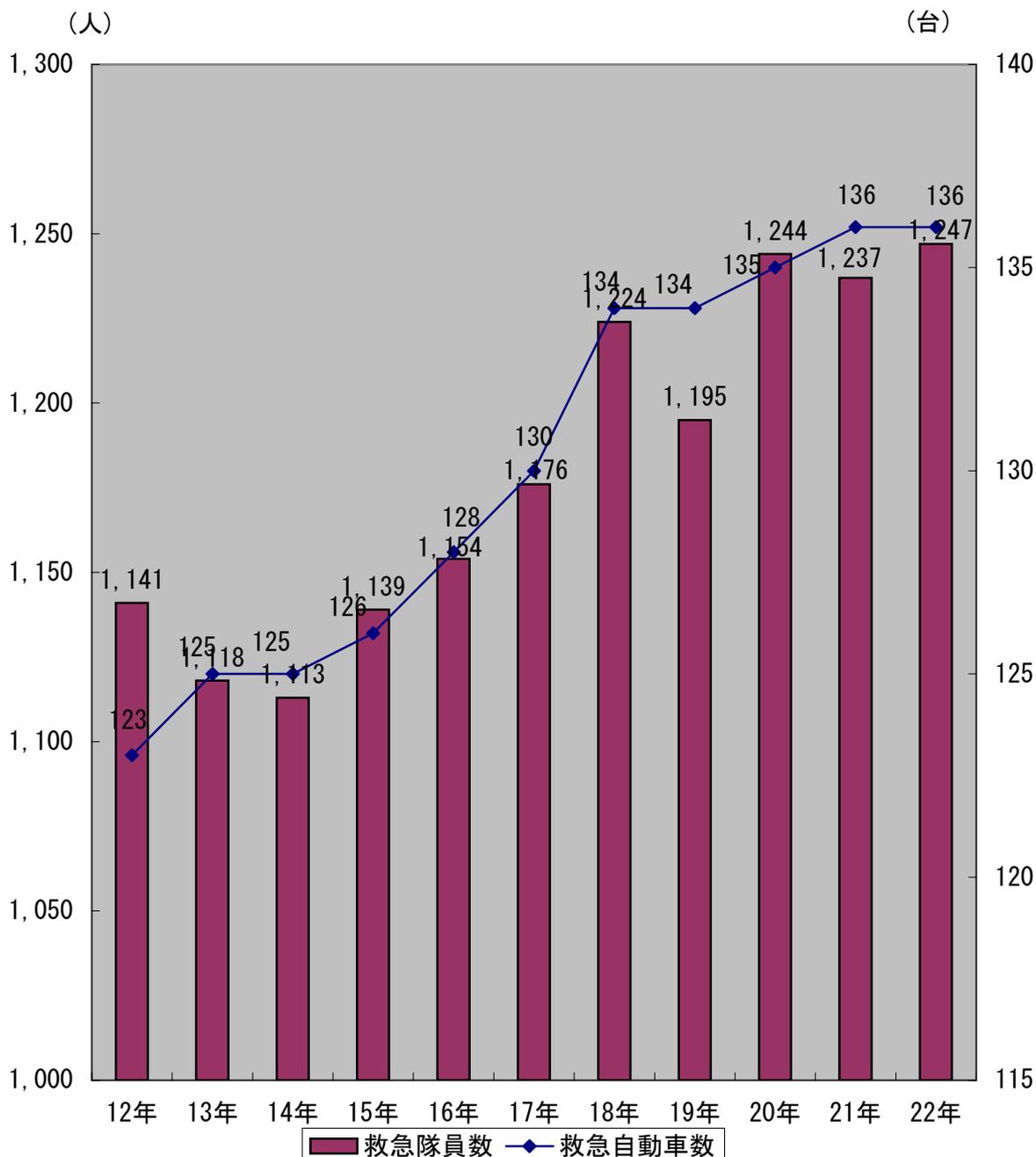
平成22年4月1日において救急業務を実施している市町村は41市町村で、県人口の99.9%がカバーされている。

救急自動車の保有台数は136台、救急隊員は1,247人（専任312人、兼任935人）で、前年に比べ救急隊員は10人増加している。また、救急告示医療機関は96機関、その他医療機関は1,519機関となっている。

平成3年8月にプレホスピタル・ケア充実の一環として、救急隊員の行う応急処置の範囲が拡大されるとともに、高度な応急処置を行うための新たな国家資格制度として救急救命士制度が導入され、救命率の向上を目指した救急業務の高度化が推進されている。

平成22年4月1日現在、県内全消防本部で救急救命士を運用（一部運用を含む）しており、資格者合計381名のうち369名が救急業務に従事している。

図-1 平成11年以降の救急自動車及び救急隊員数の推移 (各年4月1日現在)



2 救急業務実施状況

(1) 概要

平成21年中における救急出場件数は66,365件、搬送人員は62,084人で、これを昨年と比べると救急出場件数は189件（0.3%）の減少、搬送人員は21人（0.03%）の増加となっている。

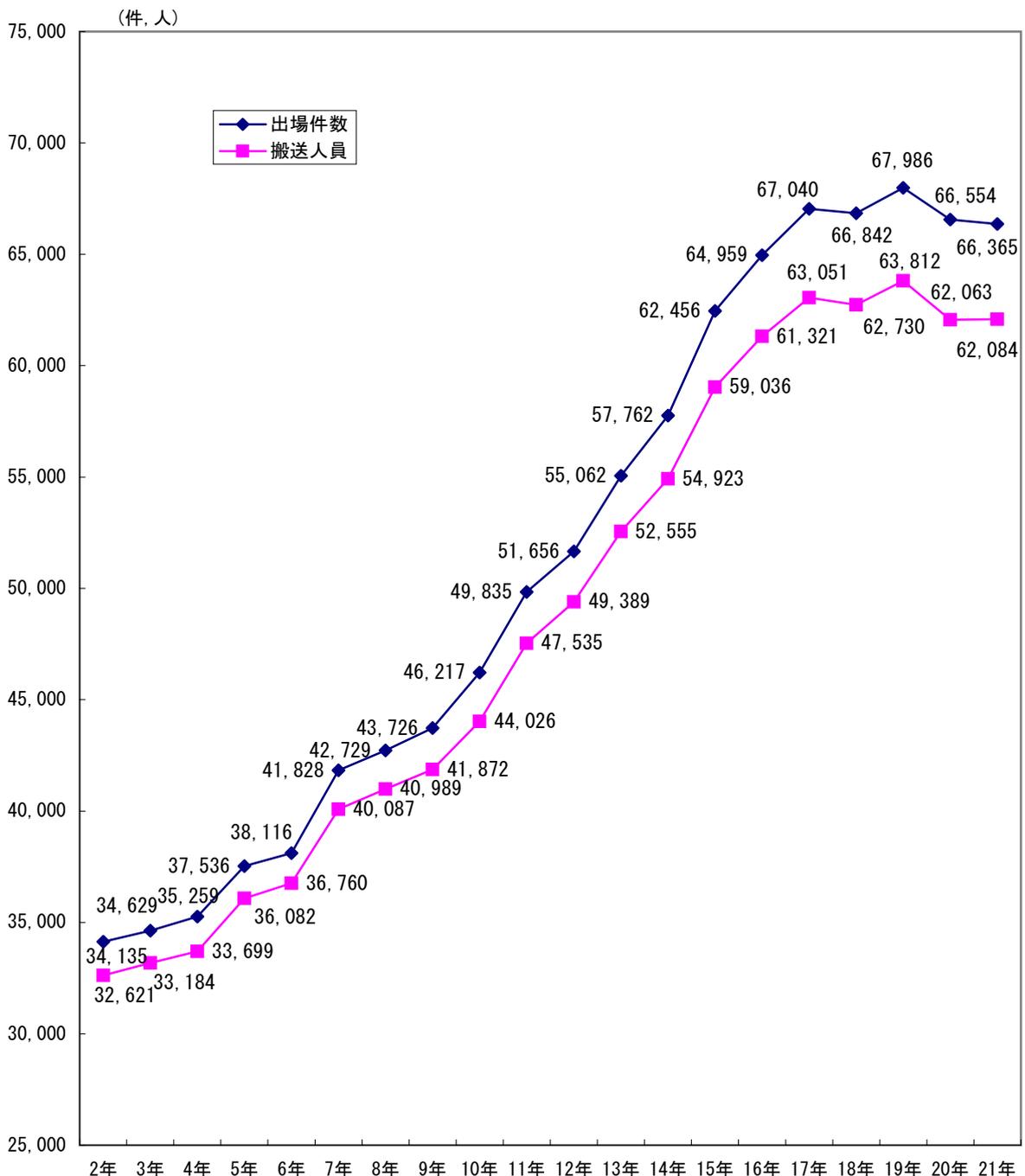
これは、1日平均181.8件（前年182.3件）、約7.9分に1回の割合で救急隊が出場し、また1日平均170.1人（前年170.0人）、約8.5分に1人、約28人に1人の割合で搬送されている。

事故種別救急出場件数は、前年と同じく1位が急病で37,341件（全体の56.3%）、次いで一般負傷8,402件（同12.7%）、交通事故が6,378件（同9.6%）となっている。

また、搬送人員については、救急出場件数と同様、1位が急病で34,436人（全体の55.5%）、次いで一般負傷が7,941人（同12.8%）、交通事故が6,641人（同10.7%）となり、上位3位までで全体の78.5%を占めている。

平成2年からの県内救急活動の推移は下図のとおりであり、これまで増加の一途をたどっていた搬送人員・出場件数は、平成19年をピークに、平成20年は減少、平成21年は横ばいとなった。

図-2 平成2年以降の救急出動件数、搬送人員の推移



(2) 事故種別、傷病程度別及び年齢区分別搬送人員の状況

表-1 事故種別出場件数及び搬送人員の状況

(単位：件、人、%)

区分		計		急病		交通事故		一般負傷		その他	
			構成比		構成比		構成比		構成比		構成比
平成21年	出場件数	66,365	100.0	37,341	56.3	6,378	9.6	8,402	12.7	14,244	21.5
	搬送人員	62,084	100.0	34,436	55.5	6,641	10.7	7,941	12.8	13,066	21.0
平成20年	出場件数	66,554	100.0	37,343	56.1	6,285	9.4	8,242	12.4	14,684	22.1
	搬送人員	62,063	100.0	34,386	55.4	6,578	10.6	7,689	12.4	13,410	21.6
増減	出場件数	△ 189	—	△ 2	—	93	—	160	—	△ 440	—
	搬送人員	21	—	50	—	63	—	252	—	△ 344	—

(注) その他は、火災・自然災害・水難・労働災害・運動競技・加害・自損行為・その他(転院搬送・医師搬送・資機材等搬送・その他)を示す。

ア 年齢別搬送人員

搬送人員の年齢別事故種別をみると、高齢者、成人では、急病が高い率を占め、少年は交通事故が高い比率を占めている。

表-2 年齢別搬送人員の状況

(単位：人、%)

区分		計		急病		交通事故		一般負傷		その他	
			構成比		構成比		構成比		構成比		構成比
新生児	142	100.0	12	8.5	0	0.0	2	1.4	128	90.1	
乳幼児	2,482	100.0	1,534	61.8	202	8.1	507	20.4	239	9.6	
少年	2,604	100.0	915	35.1	829	31.8	342	13.1	518	19.9	
成人	21,918	100.0	11,522	52.6	4,005	18.3	2,026	9.2	4,365	19.9	
高齢者	34,938	100.0	20,453	58.5	1,605	4.6	5,064	14.5	7,816	22.4	
計	62,084	100.0	34,436	55.5	6,641	10.7	7,941	12.8	13,066	21.0	

(注) 新生児：生後28日未満の者

乳幼児：生後28日以上満7歳未満の者

少年：満7歳以上満18歳未満の者

成人：満18歳以上満65歳未満の者

高齢者：満65歳以上の者

イ 傷病程度別搬送人員

平成21年中における搬送人員は62,084人であるが、これを傷病程度別にみると、軽症、中等症の両者で全体の82.6%を占めている。

表-3 傷病程度別搬送人員の状況（事故種別）

（単位：人，％）

区 分	合計		死亡	重症		中等症		軽症		その他		
	合計	構成比		構成比	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比			
火災	119	100.0	1	0.8	24	20.2	49	41.2	45	37.8		
自然災害												
水難	70	100.0	8	11.4	18	25.7	18	25.7	26	37.1		
交通事故	6,641	100.0	35	0.5	458	6.9	1,811	27.3	4,336	65.3	1	0.0
労働災害	459	100.0	4	0.9	94	20.5	208	45.3	153	33.3		
運動競技	475	100.0			24	5.1	180	37.9	270	56.8	1	0.2
一般負傷	7,941	100.0	44	0.6	1,109	14.0	3,216	40.5	3,570	45.0	2	0.0
加害	265	100.0	4	1.5	9	3.4	70	26.4	182	68.7		
自損行為	660	100.0	46	7.0	132	20.0	304	46.1	178	27.0		
急病	34,436	100.0	440	1.3	4,035	11.7	16,984	49.3	12,958	37.6	19	0.1
その他	11,018	100.0	14	0.1	4,121	37.4	6,350	57.6	400	3.6	133	1.2
計	62,084	100.0	596	1.0	10,024	16.1	29,190	47.0	22,118	35.6	156	0.3

※ 死 亡：初診時において、死亡が確認されたもの
 重 症：傷病の程度が3週間以上の入院加療を必要とするもの
 中等症：傷病の程度が入院を必要とするもので重症に至らないもの
 軽 症：傷病の程度が入院を必要としないもの
 その他：医師の診断がないもの及び「その他の場所」へ搬送したもの

また、年齢別にみると、新生児、高齢者の場合は中等症の割合が高いのに対し、乳幼児、少年、成人の場合は、軽症の比率が高くなっている。

表-4 傷病程度別搬送人員の状況（年齢別区分）

（単位：人，％）

区 分	合計		死亡	重症		中等症		軽症		その他		
	合計	構成比		構成比	構成比	構成比	構成比	構成比				
新生児	142	100.0			40	28.2	84	59.2	9	6.3	9	6.3
乳幼児	2,482	100.0	5	0.2	118	4.8	632	25.5	1,718	69.2	9	0.4
少年	2,604	100.0	2	0.1	112	4.3	811	31.1	1,675	64.3	4	0.2
成人	21,918	100.0	126	0.6	2,436	11.1	9,007	41.1	10,305	47.0	44	0.2
高齢者	34,938	100.0	463	1.3	7,318	20.9	18,656	53.4	8,411	24.1	90	0.3
計	62,084	100.0	596	1.0	10,024	16.1	29,190	47.0	22,118	35.6	156	0.3

- (3) 現場到着所要時間及び収容所要時間の状況
 平成21年中の救急出場件数66,365件について現場到着所要時間別（救急事故の覚知から現場に到着するまでに要した時間別）の状況を示したものが下表である。
 これによると最も多いのは、5分以上～10分未満の35,291件で全体の53.2%を占めている。

表-5 現場到着時間別出場件数

区分	計	3分未満	3分以上 5分未満	5分以上 10分未満	10分以上 20分未満	20分以上	収容平均 所要時間	
							県	全国
急病	37,341	1,160	5,390	20,367	9,638	786	8.1分	—
交通事故	6,378	266	1,054	3,381	1,569	108	7.8分	—
一般負傷	8,402	309	1,246	4,491	2,152	204	8.1分	—
その他	14,244	1,191	3,836	7,052	1,942	223	6.4分	—
計	66,365	2,926	11,526	35,291	15,301	1,321	7.7分	7.9分
構成比	100.0%	4.4%	17.4%	53.2%	23.1%	2.0%	—	—

平成21年中の搬送人員62,084人について、収容所要時間別（救急事故の覚知から医療機関に収容するまでに要した時間別）の状況を示したものが下表である。
 これによると搬送人員のうち31,678人（51.0%）が30分未満で収容されていることになる。

表-6 収容所要時間搬送人員

区分	計	10分未満	10分以上 20分未満	20分以上 30分未満	30分以上 60分未満	60分以上 120分未満	120分 以上	収容平均 所要時間	
								県	全国
急病	34,436	72	4,836	12,412	15,562	1,512	42	32.4分	—
交通事故	6,641	16	1,031	2,478	2,873	231	12	31.6分	—
一般負傷	7,941	28	1,125	2,807	3,520	442	19	33.0分	—
その他	13,066	41	3,066	3,766	4,820	1,312	61	34.2分	—
計	62,084	157	10,058	21,463	26,775	3,497	134	32.7分	36.1分
構成比	100.0%	0.3%	16.2%	34.6%	43.1%	5.6%	0.2%	—	—

(4) 転送の状況

搬送人員62,084人のうち99.1%は、転送なしで収容されているが、0.9%（556人）にあたる人は転送されている。

そのうち、転送回数1回の者が転送者全体の99.3%を占めている。

表-7 転送回数別搬送人員の状況

区分	計	急病	交通事故	一般負傷	その他	
転送なし	61,528	34,087	6,586	7,862	12,993	
転送	1回	552	347	55	78	72
	2回	4	2		1	1
	3回					
	4回					
	5回以上					
	小計 (A)	556	349	55	79	73
計 (B)	62,084	34,436	6,641	7,941	13,066	
転送率 (A)/(B) × 100	0.9	1.0	0.8	1.0	0.6	

転送理由についてみると、救急告示医療機関、非告示医療機関ともに処置困難が多く、次いで専門外、ベッド満床の順になっている。

表-8 医療機関転送理由の状況

(単位：件，%)

区分	合計	ベッド満床	専門外	医師不在	手術中	処置困難	理由不明	その他
救急告示	構成比	100.0	3.5	25.6	1.2	1.2	52.9	15.7
		172	6	44	2	2	91	27
非告示	構成比	100.0	4.7	32.1			52.6	0.3
		386	18	124			203	1
計	構成比	100.0	4.3	30.1	0.4	0.4	52.7	0.2
		558	24	168	2	2	294	1

(5) 救急隊員の行った応急処置の状況

平成21年中に転送された人員のうち、救急隊員によって応急処置された人の事故種別、処置項目状況をみると、急病においては、血中酸素飽和度の測定が最も多く、次いで血圧測定が多い。

また、交通事故、一般負傷においても、血中酸素飽和度の測定・血圧測定の順で処置が多くなっている。

表-9 救急隊員の行った応急処置の状況

(単位:人)

処置項目	事故種別	計	急病	交通事故	一般負傷	その他				
	応急処置対象搬送人員	60,036	33,973	6,438	7,733	11,892				
止	血	1,757	153	473	918	213				
固	定	4,974	115	3,110	1,197	552				
人	工	呼	吸	337	204	16	30	87		
心	マ	ッ	サ	ー	ジ	117	83	5	10	19
心	肺	蘇	生	1,465	1,085	58	158	164		
酸	素	吸	入	15,853	9,929	695	790	4,439		
気	道	確	保	2,332	1,684	91	237	320		
(再掲)気道確保のうち気管挿管		189	124	1	43	21				
保	温	2,453	1,599	139	276	439				
被	覆	3,767	108	1,478	1,768	413				
在	宅	療	法	継	続	146	129	9	8	
ショックパンツによる血圧保持										
除	細	動	202	170	4	15	13			
静	脈	路	確	保	(輸液)	239	182	10	19	28
薬	剤	投	与	45	33	1	8	3		
血	圧	測	定	53,386	31,093	5,971	6,844	9,478		
聴診器による心音・呼吸音等の聴取		7,530	5,308	824	675	723				
血中酸素飽和度の測定		57,547	32,770	6,207	7,292	11,278				
心	電	図	14,989	11,413	483	789	2,304			
その他の応急処置		17,105	12,175	932	1,679	2,319				
計(再掲の気管挿管を除く)		184,244	108,233	20,497	22,714	32,800				

(注) 一人につき複数の応急処置を行うこともあるため、応急処置対象搬送人員と事故種別ごとの処置項目の計の数は一致しない。

(6) 高速道路における救急業務の状況

高速自動車国道における救急業務実施体制は、平成21年4月1日現在、九州縦貫自動車道のうち鹿児島インターチェンジから宮崎インターチェンジ並びにえびのインターチェンジから人吉インターチェンジまでを沿線2市2組合で、相互応援協定を締結し、上下線方式により、第1次出場をインターチェンジ所在の常備消防が担当する体制を整えている。東九州自動車道31.7kmは沿線1市1組合が担当している。

県内においては、上り線が鹿児島インターチェンジから宮崎県えびのインターチェンジまでの69.8kmについて、第1次出場を担当し、救急業務を行っている。

なお、平成21年中の本県における救急活動は、下表のとおりである。

高速自動車道における救急活動状況

表-10 九州自動車道

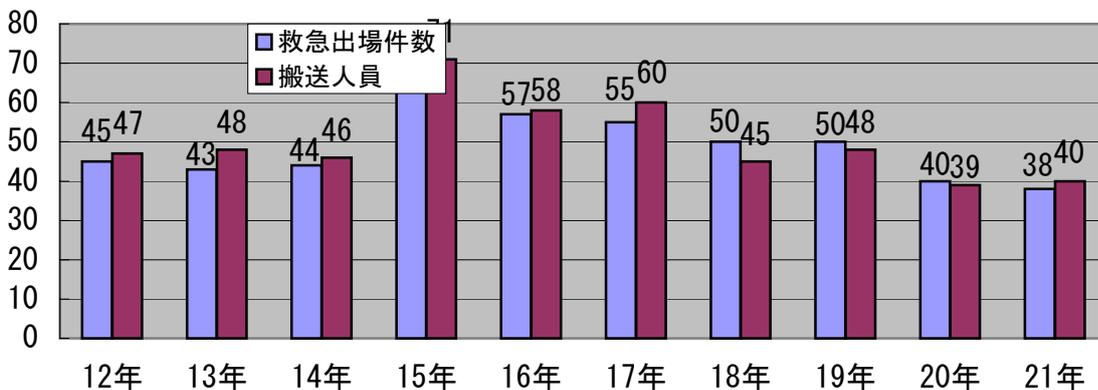
区 分	インターチェンジ名 (I C)	救急出場件数	搬送人員	救急告示 医療機関数	高速道路に おける救急活動 開始年月日
鹿児島市消防局	鹿児島	2	1	24	昭和63.3.29
	鹿児島北	4	4	3	昭和52.11.15
	薩摩吉田	4	8		昭和48.12.13
始良市消防本部	始良	14	12	1	昭和48.12.13
	加治木	2	2	1	昭和48.12.13
霧島市消防局	溝辺鹿児島空港	3	2		平成17.11.7
	横川	5	8		平成17.11.7
伊佐湧水消防組合	栗野	4	3		昭和55.3.22
計	8 I C	38	40	29	

(注) 医療機関は、インターチェンジから半径5キロメートルの範囲にあるものである。

表-11 東九州自動車道

区 分	インターチェンジ名 (I C)	救急出場件数	搬送人員	救急告示 医療機関数	高速道路に おける救急活動 開始年月日
霧島市消防局	国分	1	1	3	平成14.3.2
	隼人東			1	平成12.3.4
大隅曾於地区消防組合	末吉財部	1			平成14.5.9
計	3 I C	2	1	4	

図-3 最近10年間の高速自動車道における救急出場件数及び搬送人員



3 プレホスピタル・ケアの充実

プレホスピタル・ケア（救急現場及び搬送途上における応急処置）の一層の充実を図るために、平成3年8月に「救急隊員の行う応急処置等の基準」が改正され、これに伴い消防学校における新たな教育訓練（救急標準課程（平成16年4月1日より救急科に改称）及び救急Ⅱ課程）の修了者は、従来の応急処置に加えて9項目の処置を行うものとされ、救急救命士資格者は、医師の指示の下にさらに高度な応急処置（特定3項目）をも行うものとされた。

これに伴い、消防学校における救急科（救急標準課程）の修了者が計画的に養成されるとともに、救急救命士についても県内全消防本部において運用され、資格者、高規格救急自動車のいずれも着実に増加している。また、救急救命士の質の向上による救命効果を高めるため、平成15年2月に消防機関、救急医療機関、医師会などにより構成される鹿児島県救急業務高度化協議会を、同年3月に6地域（薩摩、北薩、始良伊佐、大隅、熊毛、大島）に地域救急業務高度化協議会を設置し、本県における救急業務の高度化について協議を行い、平成15年4月から包括的除細動を実施し、平成16年7月から認められた医師の具体的指示下での気管挿管についても救急業務高度化協議会で承認された病院で、体制の整った消防本部から順次病院実習を実施し、188名が認定を受け15消防本部で実施が可能となっている。また、平成18年4月から認められた医師の具体的指示下での薬剤投与についても165名が認定・登録を受け、17消防本部で実施が可能となっている。

さらに、救急現場近くの一般市民による応急手当を促進するため、平成21年12月末までに応急手当指導員2,197名、応急手当普及員351名が県内消防本部により養成され、住民に対する応急手当講習会が次のとおり実施されている。なお、平成16年12月に応急手当の普及啓発活動の推進に関する実施要綱の一部改正により、非医療従事者による自動体外式除細動器（AED）の使用が可能となったことから、AEDの内容を含めた救命講習の実施率が高くなっている。

平成21年中の住民に対する応急手当講習会実施状況

普通救命講習	1,464回	16,240名	受講
上級救命講習	11回	185名	受講
その他の講習	2,100回	59,397名	受講
計	3,575回	75,822名	受講

表-12 救急業務高度化の

各年4月1日現在

区分	平成22年	平成21年	対前年比較	
			増減数	増減率
救急救命士運用消防本部数	19	19		1.00
救急隊員数①	1,247	1,237	10	1.01
うち救急救命士有資格者②	369	342	27	1.08
(②/①:%)	(29.6%)	(27.6%)		
(②のうち気管挿管認定者)	188	154	34	1.22
(②のうち薬剤投与認定者)	165	113	52	1.46
うち救急科（救急標準課程） 救急Ⅱ課程修了者③	816	829	△ 13	0.98
(③/①:%)	(65.4%)	(67.0%)		
救急自動車数④	136	136		1.00
うち高規格車⑤	66	59	7	1.12
(⑤/④:%)	(48.5%)	(43.4%)		
救急隊数⑥	104	104		1.00
うち救急救命士運用隊⑦	84	77	7	1.09
(⑦/⑥:%)	(80.8%)	(74.0%)		

※1 救急救命士については、上記369名の外、救急自動車に同乗しない資格者が12名いる（有資格者は、381名）

る。

表-13 救急業務実施体制等の状況（消防本部設置市町村）

区分 消防本部別	人口 (人) H17年 国調	面積 (km ²) H21.10.1 国地院	救 急 体 制											
			救急車総数					救急 救命士 運用 隊数	救急隊員数					
			うち 高規 格	うち 予備 車	救急 隊数	計	うち資格者・修了者			専任	兼任			
							救急 救命 士		標準 課程			救急 Ⅱ課 程		
鹿児島市消防局	604,367	547.06	20	12	5	15	10	149	50	55	37	79	70	
出水市消防本部	57,907	330.06	4	3	1	3	3	46	17	15	5	18	28	
垂水市消防本部	18,928	162.03	3	1	1	2	1	31	7	17	7		31	
薩摩川内市消防局	102,370	683.50	10	4	3	7	4	81	28	32	13	35	46	
日置市消防本部	52,411	253.06	5	3	2	3	3	48	14	21	7	14	34	
霧島市消防局	127,309	603.68	8	5		8	8	96	29	52	13	29	67	
いちき串木野市 消防本部	32,993	112.04	3	2	1	2	2	34	9	12	10		34	
始良市消防本部	74,840	231.32	5	2	2	3	2	34	10	17	4	31	3	
さつま町消防本部	25,688	303.43	3	2	1	2	2	26	10	10	6	9	17	
指宿地区消防組合	60,948	※ ² 149.01	5	3		5	5	66	24	29	11		66	
南薩地区消防組合	94,892	※ ³ 716.10	11	4	1	10	9	134	28	72	32	28	106	
阿久根地区消防組合	37,030	250.52	6	3	2	4	2	53	10	25	17		53	
伊佐湧水消防組合	44,065	536.69	6	2	1	5	2	56	13	22	19		56	
大隅曾於地区消防組合	92,360	781.22	6	4	1	5	5	40	27	10	3	36	4	
大隅肝属地区消防組合	151,549	1,160.92	10	5	1	9	9	87	28	30	14	25	62	
沖永良部与論地区 広域事務組合消防組合	20,282	114.17	4		2	2	2	33	6	12	14		33	
徳之島地区消防組合	27,167	247.92	4		1	3	1	40	5	14	21		40	
熊毛地区消防組合	47,904	994.96	10	5	4	6	6	86	29	21	36		86	
大島地区消防組合	79,034	878.30	13	6	3	10	8	107	25	35	46	8	99	
計	1,752,044	9,055.99	136	66	32	104	84	1,247	※ ¹ 369	501	315	312	935	

※1 救急救命士については、上記369名の外、救急自動車に同乗しない資格者が12名いる。

（有資格者は、381名）

※2 面積について、指宿地区消防組合には南九州市旧穎娃町分を含んでいない。

※3 南薩地区消防組合には南九州市旧穎娃町分を含んだ面積である。

[現場到着平均所要時間及び収容平均所要時間は平成21年中、左記以外は平成22年4月1日現在]

医 療 機 関 数											人口10万人当たりの救急医療機関数	現場到着平均所要時間 (分)	収容平均所要時間 (分)
合計	救急告示医療機関					その他の医療機関							
	国公立	公的	私 的		計	国公立	公的	私 的		計			
			病 院	診療所				病 院	診療所				
632	3	3	27	4	37	15	6	67	507	595	6.1	7.2	27.7
41	2				2	2		4	33	39	3.5	7.6	32.7
10	1		1		2			1	7	8	10.6	4.7	31.5
129		1	4		5	16	4	11	93	124	4.9	8.6	34.0
42			1		1	1		7	33	41	1.9	7.7	34.5
117	1		4	2	7	1		8	101	110	5.5	8.2	36.8
29								8	21	29		4.7	27.4
98			2		2	2		7	87	96	2.7	5.9	29.2
20								6	14	20		8.7	37.6
53	1		3	1	5			9	39	48	8.2	6.0	32.6
89	2		5		7	4		12	66	82	7.4	5.7	31.8
22			2		2	3		1	16	20	5.4	8.7	38.4
34	1		2		3			4	27	31	6.8	7.2	33.8
66			1	1	2			9	55	64	2.2	9.4	41.3
149	2		5	2	9	14		14	112	140	5.9	10.1	38.4
12			2		2				10	10	9.9	7.7	26.2
13			2		2	1		1	9	11	7.4	8.9	33.3
25	1		2		3	4		2	16	22	6.3	8.3	35.5
62	1		4		5	7		5	45	57	6.3	8.7	38.3
1,643	15	4	67	10	96	70	10	176	1,291	1,547	5.5	7.7	32.7

表-14 消防本部救急出場件数及び搬送人員

区分	事故種別救急出場件											
	計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	
消防本部名												
鹿児島市消防局	21,419	123		9	2,230	126	136	2,636	139	372	12,219	
出水市消防本部	2,041	4		2	236	15	12	272	9	21	1,132	
垂水市消防本部	896			4	81	5	3	111		7	469	
薩摩川内市消防局	3,767	24		5	322	18	39	445	14	50	2,206	
日置市消防本部	1,821	2		1	171	19	18	260	8	16	990	
霧島市消防本部	4,784	7		4	644	29	41	566	24	55	2,592	
いちき串木野市消防本部	1,260	2			80	10	7	156	7	20	574	
始良市消防本部	2,736	4		4	265	17	24	376	15	43	1,482	
さつま町消防本部	1,042	4		1	104	11	24	134	2	13	514	
指宿地区消防組合	2,405	3		2	200	29	23	309	4	33	1,217	
南薩地区消防組合	3,874	12		14	362	28	47	444	9	45	1,981	
阿久根地区消防組合	1,779	4		3	112	18	7	258	6	13	1,017	
伊佐湧水消防組合	1,723	4			112	13	8	221	5	20	926	
大隅曾於地区消防組合	3,358	6		4	326	59	14	418	10	57	1,959	
大隅肝属地区消防組合	5,639	6		6	672	35	33	652	26	74	3,109	
沖永良部与論地区 広域事務組合	635			5	47	1	3	89	5	8	378	
徳之島地区消防組合	1,600	5		8	73	10	11	271	5	16	1,102	
熊毛地区消防組合	1,730	4		5	132	17	10	234	4	29	1,085	
大島地区消防組合	3,856	10		18	209	18	12	550	21	54	2,389	
計	66,365	224		95	6,378	478	472	8,402	313	946	37,341	
時 間 区 分	0~2	3,158	13		2	147	6		338	51	66	2,278
	2~4	2,299	7		1	102	2		232	40	42	1,667
	4~6	2,201	9		3	134	4		228	26	42	1,585
	6~8	4,126	17		5	555	18	2	494	16	66	2,746
	8~10	7,928	26		7	767	88	29	1,059	13	87	4,232
	10~12	8,360	22		8	715	102	112	1,049	5	90	3,890
	12~14	7,468	18		22	695	78	98	838	14	95	3,627
	14~16	7,002	23		18	701	89	96	1,001	10	77	3,455
	16~18	7,286	26		9	976	66	52	978	19	101	3,598
	18~20	6,806	31		11	881	13	35	905	14	118	3,900
	20~22	5,573	17		5	444	8	46	755	42	90	3,578
	22~24	4,158	15		4	261	4	2	525	63	72	2,785

〔平成21年中〕

数				事故種別搬送人員											
その他				計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
転院搬送	医師搬送	資輸 機材等送	その他												
2,880	2		547	19,628	29		5	2,247	121	135	2,481	124	279	11,208	2,999
324	1		13	1,913	5		2	255	15	11	264	4	12	1,016	329
211			5	866			9	99	5	3	104		3	431	212
628		1	15	3,509	7		2	367	16	39	422	11	29	2,040	576
335			1	1,757	2		1	181	19	18	249	5	11	936	335
818			4	4,493	6		2	642	27	43	542	16	45	2,356	814
372			32	1,201	2			81	10	7	147	7	13	534	400
501			5	2,578	4		4	266	16	24	350	13	34	1,367	500
234			1	1,006	5		1	107	11	24	126	1	11	488	232
582			3	2,295	3		1	206	28	21	296	3	25	1,133	579
914			18	3,716	13		10	394	28	50	423	9	26	1,849	914
333	3		5	1,738	4		1	129	17	7	253	5	10	978	334
411			3	1,632	6			126	12	8	212	5	9	844	410
497			8	3,183	7		2	354	58	15	400	11	28	1,815	493
1,011			15	5,458	6		7	710	33	35	631	22	59	2,942	1,013
16			83	592			4	45	1	3	87	5	4	352	91
61			38	1,535	5		6	73	10	10	260	4	9	1,061	97
141			69	1,690	5		3	163	16	10	221	5	22	1,037	208
446			129	3,294	10		10	196	16	12	473	15	31	2,049	482
10,715	6	1	994	62,084	119		70	6,641	459	475	7,941	265	660	34,436	11,018
189			68	2,863	4		1	145	5		306	45	53	2,098	206
144			62	2,090			1	103	2		222	31	36	1,539	156
125			45	2,035	6		2	131	4		214	23	32	1,490	133
155	1		51	3,828	11		4	558	18	2	473	12	44	2,537	169
1,532	1		87	7,502	11		2	801	84	30	1,021	11	49	3,945	1,548
2,241	1		125	7,948	12		4	754	100	112	1,011	5	60	3,584	2,306
1,860	1		122	7,086	9		22	737	77	99	789	13	67	3,350	1,923
1,436			96	6,627	13		9	767	83	96	967	10	51	3,162	1,469
1,363	2		96	6,834	16		7	1,014	61	52	919	16	73	3,281	1,395
822			76	6,361	17		10	914	13	36	843	10	75	3,598	845
505		1	82	5,110	8		5	461	8	46	696	34	62	3,275	515
343			84	3,800	12		3	256	4	2	480	55	58	2,577	353

表-15 曜日別月別救急出場件数調

(平成21年中)

事故種別 区分		火災	自然 災害	水難	交通	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加害	自損 行為	急病	そ の 他				計
												転院 搬送	医師 搬送	資機 材等 輸送	その 他	
曜 日 別	月	32		11	954	72	39	1,250	39	138	5,625	1,696			129	9,985
	火	28		13	888	83	43	1,133	47	159	5,212	1,685	2	1	147	9,441
	水	28		23	922	68	47	1,163	41	150	5,208	1,561	1		174	9,386
	木	34		12	950	72	35	1,137	37	134	5,217	1,708	1		121	9,458
	金	38		13	986	84	33	1,122	36	118	5,166	1,752	1		128	9,477
	土	36		11	867	62	89	1,220	55	139	5,253	1,420			141	9,293
	日	28		12	811	37	186	1,377	58	108	5,660	893	1		154	9,325
計		224		95	6,378	478	472	8,402	313	946	37,341	10,715	6	1	994	66,365
月 別	1月	18		6	478	38	28	738	29	62	3,874	1,065	1		76	6,413
	2月	23		7	430	34	34	580	19	83	2,794	822	1		76	4,903
	3月	19		3	563	40	28	670	27	81	3,103	912	2		98	5,546
	4月	24		6	477	53	26	646	21	92	2,946	867			54	5,212
	5月	15		11	530	29	58	690	26	72	2,854	907	1		89	5,282
	6月	15		14	481	41	55	633	28	94	2,662	845			89	4,957
	7月	14		11	578	39	50	685	46	81	3,166	902			94	5,666
	8月	19		13	643	37	52	736	19	79	3,340	902	1		107	5,948
	9月	24		7	546	36	54	718	31	84	2,870	813		1	79	5,263
	10月	20		8	560	54	36	733	16	80	2,932	843			80	5,362
	11月	11		3	512	32	32	734	24	68	3,179	833			72	5,500
	12月	22		6	580	45	19	839	27	70	3,621	1,004			80	6,313

第4 応急手当指導員等養成講習の状況

表-16

【指導員】

区分	講習修了者数						登録を抹消した者	講習回数
	計	消防職員	消防職員の退職者	消防団員	救命士等の医療従事者	その他		
平成21年中修了者	応急手当指導員講習Ⅰ	17	12			5	7	28
	応急手当指導員講習Ⅱ	90	26		64			8
	応急手当指導員講習Ⅲ							
	消防長認定者	23	14			9		
	応急手当指導員講習Ⅰ免除者	12	11			1		
	計	142	63		64	15	7	36
前年中までの修了者	応急手当指導員講習Ⅰ	574	500	19		55	22	102
	応急手当指導員講習Ⅱ	948	384	3	561		1	63
	応急手当指導員講習Ⅲ	1	1					
	消防長認定者	421	369	8		44	12	
	応急手当指導員講習Ⅰ免除者	111	109			2	1	
	計	2,055	1,363	30	561	101	36	165
合計	2,197	1,426	30	625	116	43	201	

表-17

【普及員】

区分	講習修了者数						登録を抹消した者	講習回数
	計	消防職員	消防職員の退職者	消防団員	救命士等の医療従事者	その他		
平成21年中修了者	応急手当普及員講習Ⅰ	28			5		23	1
	応急手当普及員講習Ⅱ							
	消防長認定者	8	8					
	応急手当普及員講習Ⅱ免除者							
	計	36	8		5		23	1
前年中までの修了者	応急手当普及員講習Ⅰ	195	72		19	1	103	8
	応急手当普及員講習Ⅱ	13				13	12	13
	消防長認定者	107	86	6		6	9	6
	応急手当普及員講習Ⅱ免除者							
	計	315	158	6	19	20	112	51
合計	351	166	6	24	20	135	51	

第2 救助活動の概況

1 救助業務実施体制

平成21年4月1日現在、救助隊は34隊配置されており、そのうち5隊が特別救助隊で、1隊が高度救助隊である。

また、396人の救助隊員のうち43.9%にあたる174人が専任救助隊員である。

表-18 救助体制

(単位：隊、人)

区分 消防本部名	救助隊数			救助隊員数			
	省令	専任救助隊	兼任救助隊	計	専任救助隊員	兼任救助隊員	計
鹿児島市消防局	3	3		3	42		42
	4	2		2	28		28
	5	1		1	14		14
出水市消防本部	3	1		1	8		8
	4						
	5						
垂水市消防本部	3		1	1		8	8
	4						
	5						
薩摩川内市消防局	3	1	1	2	12	9	21
	4	1		1	12		12
	5						
日置市消防本部	3		1	1		10	10
	4						
	5						
霧島市消防局	3		2	2		12	12
	4						
	5						
いちき串木野市消防本部	3		1	1		5	5
	4						
	5						
姶良市消防本部	3	1		1	8		8
	4						
	5						
さつま町消防本部	3		1	1		15	15
	4						
	5						
指宿地区消防組合	3		1	1		10	10
	4						
	5						
南薩地区消防組合	3		2	2		30	30
	4						
	5						
阿久根地区消防組合	3		1	1		14	14
	4						
	5						
伊佐湧水消防組合	3		2	2		23	23
	4						
	5						
大隅曾於地区消防組合	3	2		2	20		20
	4	1		1	10		10
	5						
大隅肝属地区消防組合	3	1	2	3	10	30	40
	4	1		1	10		10
	5						
沖永良部与論地区広域事務組合	3		1	1		15	15
	4						
	5						
徳之島地区消防組合	3		1	1		18	18
	4						
	5						
熊毛地区消防組合	3		1	1		15	15
	4						
	5						
大島地区消防組合	3		1	1		8	8
	4						
	5						
県計	3	9	19	28	100	222	322
	4	5		5	60		60
	5	1		1	14		14

※ 省令3は省令第3条の規定による救助隊、省令4は省令第4条の規定による救助隊（特別救助隊）、省令5は省令第5条の規定による救助隊（高度救助隊）

表-19 救助隊が搭乗する車両

区分 消防本部名	救 助 車	はしご車	屈はしご車	折はしご車	ポンプ車	水槽付ポンプ車	化学車	その他	計
	鹿児島市消防局	3							
出水市消防本部	1	1							2
垂水市消防本部								1	1
薩摩川内市消防局	1					1			2
日置市消防本部	1								1
霧島市消防局	2	2							4
いちき串木野市消防本部	1	1							2
始良市消防本部	1								1
三島村									
十島村									
さつま町消防本部	1								1
指宿地区消防組合	1	1				2			4
南薩地区消防組合	2	1	1						4
阿久根地区消防組合	1								1
伊佐湧水消防組合	2								2
大隅曾於地区消防組合	2	1				2			5
大隅肝属地区消防組合	1	1						1	3
沖永良部与論地区広域事務組合	1								1
徳之島地区消防組合	1								1
熊毛地区消防組合	1								1
大島地区消防組合	1	1			1				3
県計	24	9	1		1	5		2	42

2 救助業務実施状況

表-20 平成2年以降の救助業務実施状況の推移

(単位：件、人)

	出動件数	活動件数	救助人員
平成2年	857	253	298
平成3年	956	250	300
平成4年	1,028	297	350
平成5年	1,185	357	4,955
平成6年	1,221	307	358
平成7年	1,049	306	332
平成8年	1,126	330	344
平成9年	1,138	359	415
平成10年	1,107	405	440
平成11年	1,137	428	495
平成12年	1,093	500	583
平成13年	1,158	519	594
平成14年	1,188	505	613
平成15年	1,153	458	548
平成16年	1,320	491	570
平成17年	1,259	591	552
平成18年	757	452	664
平成19年	772	484	732
平成20年	716	462	527
平成21年	771	509	669

平成21年中における救助業務の実施状況は、表-20のとおりであり、救助出動件数771件、救助活動件数509件、救助人員669人となっている。

これを前年と比較すると出動件数は55件(7.7%)の増加、活動件数は47件(10.2%)の増加、救助人員は142人(26.9%)の減少となっている。

表-21-1 事故種別出動件数及び活動人員の状況

(単位：件、人)

区分	事故種別									
	火災	交通事故	水難事故	風自水然 害災 等害	機事 械に よる 故	建よ 物る 等事 に故	ガ酸 ス欠 及事 び故	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故	計
鹿児島市消防局	40	47	13		3	5	17		50	175
出水市消防本部		24	1		1	1	2		3	32
垂水市消防本部		6	1						1	8
薩摩川内市消防局	4	32	2		2				10	50
日置市消防本部		16	1		2				6	25
霧島市消防局		59	5		4	1			18	87
いちき串木野市 消防本部		8							2	10
始良市消防本部		48	7		1	2			23	81
三島村										
十島村										
さつま町消防本部		8			1				2	11
指宿地区消防組合		6	1			1			14	22
南薩地区消防組合	2	44	8		3				9	66
阿久根地区消防組合		12	2		1				5	20
伊佐湧水消防組合		14	1			1			3	19
大隅曾於地区消防組合		29	2		1		1		1	34
大隅肝属地区消防組合		45	2		1				14	62
沖永良部与論地区 広域事務組合		4	2		1				3	10
徳之島地区消防組合		2	2						2	6
熊毛地区消防組合		2	3		1				5	11
大島地区消防組合		21	7						14	42
救助出動件数 計	46	427	60		22	11	20		185	771
救助出動人員	専任救助隊員	230	808	141		44	28	105	397	1,753
	兼任救助隊員	3	554	66		38	8		211	880
	消防隊員	1,018	1,171	298		60	49	105	503	3,204
	救急隊員	127	1,624	181		74	32	60	554	2,652
	消防団員	298	53	446					95	892
	計	1,676	4,210	1,132		216	117	270	1,760	9,381

表-21-2 事故種別活動件数及び活動人員の状況

(単位：件，人)

事故種別	火災	交通事故	水難事故	風水害等	自然災害等	機械による事故	建物等事故	ガス欠及び事故	破裂事故	その他の事故	計
消防本部名	災	故	故	害	害	る	に	故	故	故	
鹿児島市消防局	40	41	12			3	5	16		42	159
出水市消防本部		18				1	1	2		2	24
垂水市消防本部		6	1								7
薩摩川内市消防局	4	22	2			1				7	36
日置市消防本部		12	1							5	18
霧島市消防局		24	1			1	1			11	38
いちき串木野市消防本部		3								1	4
始良市消防本部		35	7			1	2			18	63
三島村											
十島村											
さつま町消防本部		4				1				2	7
指宿地区消防組合		5	1				1			14	21
南薩地区消防組合	2	20	5			1				4	32
阿久根地区消防組合		12	1			1				5	19
伊佐湧水消防組合		3	1				1			1	6
大隅曾於地区消防組合		14	1					1		1	17
大隅肝属地区消防組合		13	1							11	25
沖永良部与論地区広域事務組合		1	2			1				1	5
徳之島地区消防組合		2	2							2	6
熊毛地区消防組合		2	3			1				3	9
大島地区消防組合		4	3							6	13
救助活動件数 計	46	241	44			12	11	19		136	509
救助活動人員	専任救助隊員	171	387	90		25	28	95		223	1,019
	兼任救助隊員		235	46		17	8			129	435
	消防隊員	354	624	234		28	37	84		310	1,671
	救急隊員	60	841	124		38	27	38		362	1,490
	消防団員	73	50	396						74	593
	計	658	2,137	890		108	100	217		1,098	5,208

(注) 「救助活動件数」とは、救助出動件数のうち、実際に救助活動を行った件数をいう。

表-21-3 事故種別救助人員の状況

(単位：人)

事故種別 消防本部名	火 災	交 通 事 故	水 難 事 故	風自 水然 害災 等害	機事 械に よる 故	建よ 物る 等事 に故	ガ酸 ス欠 及事 び故	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故	計
鹿児島市消防局	11	41	13		3	4	4		43	119
出水市消防本部		22			1	1	19		2	45
垂水市消防本部		36	13							49
薩摩川内市消防局	1	25	4		1				7	38
日置市消防本部		15	1						5	21
霧島市消防局		29	1		1	1			11	43
いちき串木野市 消防本部		3							1	4
始良市消防本部		55	7		1	2			17	82
三島村										
十島村										
さつま町消防本部		4			1				2	7
指宿地区消防組合		5	1			1			14	21
南薩地区消防組合		34	5		1				4	44
阿久根地区消防組合		70	3		6				28	107
伊佐湧水消防組合		7	1			1			1	10
大隅曾於地区消防組合		15	1				1		1	18
大隅肝属地区消防組合		13	1						11	25
沖永良部与論地区 広域事務組合		1	3		1				1	6
徳之島地区消防組合		2	2						2	6
熊毛地区消防組合		3	3		1				4	11
大島地区消防組合		4	3						6	13
救助人員 計	12	384	62		17	10	24		160	669

表-22 救助活動のための機械器具等の保有状況（救助隊保有分）

一般 用 救 助 用 器 具	かぎ付きはしご	31	隊 員 保 護 用 器 具	耐電手袋	108
	三連はしご	27		耐電衣	28
	金属折りたたみはしご又はワイヤはしご	21		耐電ズボン	21
	空気式救助マット	24		耐電長靴	71
	救命索発射銃	36		防塵メガネ	118
	サバイバースリング又は救助用縛帯	92		携帯警報器	63
	平担架	15		防毒マスク	58
重 量 物 排 除 用 器 具	油圧ジャッキ	33	除 器 染 用 具	化学防護服（陽圧式化学防護服を除く）	29
	油圧スプレッダー	14		陽圧式化学防護服	32
	可搬ウィンチ	30		耐熱服	21
	マンホール救助器具	13		放射線防護服	61
	救助用簡易起重機	2		特殊ヘルメット	7
	マット型空気ジャッキ	35		除染シャワー	1
	大型油圧スプレッダー	15		除染剤散布器	2
切 断 用 器 具	救助用支柱器具	5	水 難 救 助 用 器 具	潜水器具	73
	チェーンブロック	7		救命胴衣	230
	油圧切断機	17		水中投光器	23
	エンジンカッター	32		救命浮環	90
	ガス溶断機	21		浮標	21
	チェーンソー	31		救命ボート	10
	鉄線カッター	40		船外機	11
破 壊 用 器 具	空気鋸	23	山 用 助 岳 器 具	水中スクーター	1
	大型油圧切断機	15		水中無線機	2
	空気切断機	12		水中時計	6
	コンクリート・鉄筋切断用チェーンソー	6		水中テレビカメラ	1
	万能斧	68		登山器具	14
	ハンマー	33		バスケット型担架	27
	携帯用コンクリート破壊器具	9		検 用 器 索 具	簡易画像探索機
削岩機	16	画像探索機	8		
測 定 用 器 具	ハンマドリル	10	高 度 救 助 器 具	地中音響探知機	2
	生物剤検知器	3		熱画像直視装置	6
	可燃性ガス測定器	18		夜間暗視装置	2
	有毒ガス測定器	20		水中探査装置	1
	酸素濃度測定器	11		地震警報器	1
呼 吸 保 護 用 器 具	放射線測定器	11	そ の 他 の 救 助 用 器 具	投光器	48
	空気呼吸器	154		携帯投光器	40
	空気補充用ポンベ	172		携帯拡声器	47
	酸素呼吸器	27		携帯無線機	48
	簡易呼吸器	6		応急処置用セット	21
	防塵マスク	98		車両移動器具	8
	送排風機	27		緩降機	25
呼 吸 保 護 用 器 具	エアラインマスク	2	ロープ登降機	33	
			救助用降下機	8	
			発電機	44	

第3 自衛隊災害派遣による急患搬送

離島における医療体制の実情により、現地では治療困難な患者で、一刻も早く専門病院での手当てが必要である者に対して、昭和36年から自衛隊に対し、災害派遣要請（航空機搬送）を実施している。

搬送機関・活動範囲

海上自衛隊第1航空群 鹿屋航空分遣隊（鹿屋市）
十島村以北

陸上自衛隊第15旅団 第15飛行隊（沖縄県那覇市）
奄美大島以南

1 自衛隊災害派遣（離島急患搬送）の状況

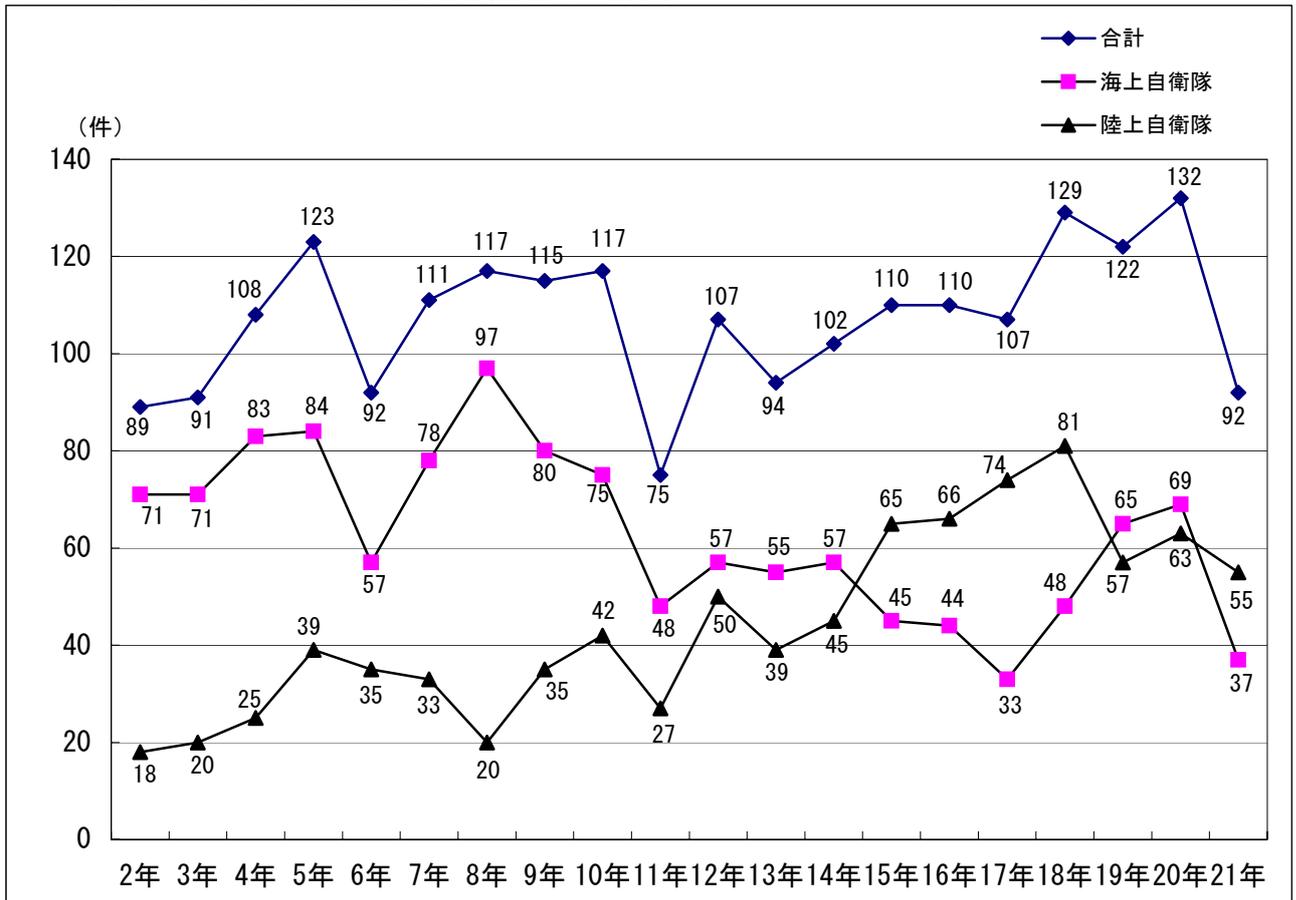
平成21年中における急患搬送出動件数は92件である。（図-3）

出動件数92件を郡別にみると、大島郡（奄美市を含む）が59件（全体の64.1%）で、次に熊毛郡（西之表市を含む）が23件（同25.0%）、鹿児島郡等が6件（同6.5%）、薩摩川内市が4件（同4.3%）となっている。（図-4及び表-23）

また、月別では、1月の12件が最も多く、時間帯別（派遣要請時間）では10時から12時までが13件で最も多くなっている。（表-24）

平成21年中の搬送人員を傷病別にみると、内臓疾患によるものが37人（全体の39.8%）で最も多く、次に脳疾患が19人（同20.4%）となっている。（表-25及び表-26）

図-3 昭和61年以降の災害派遣（急患搬送）出動件数



（注）「海上自衛隊」には、教育航空集団を、「陸上自衛隊」には南西航空混成団をそれぞれ含んでいる。

図-4 平成2年以降の市・郡別災害派遣（急患搬送）の出動件数（その1）

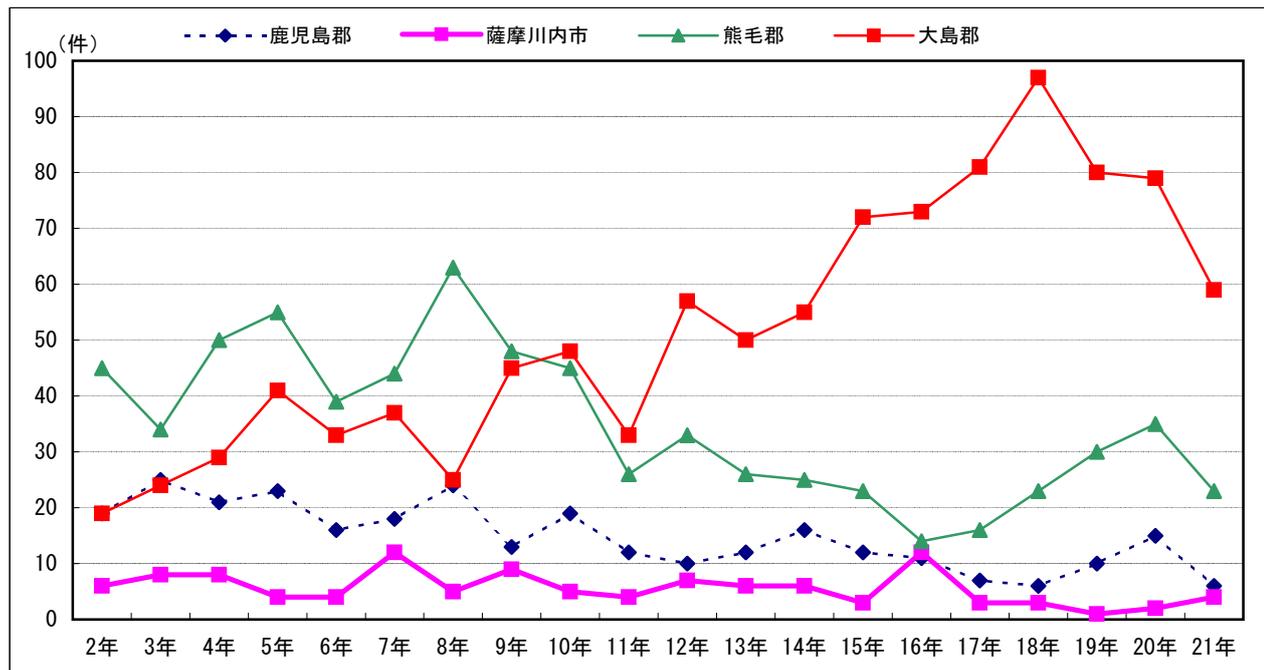


表-23 平成2年以降の市・郡別災害派遣（急患搬送）出動件数（その2）

（年中）

年	郡別	計	鹿児島郡	薩摩川内市	熊本郡	大島郡	計のうち不搬送件数
平成 2 年		89 (18)	19 (1)	6	45	19 (17)	鹿屋3件, 沖縄1件
3		91 (20)	25	8	34	24 (20)	
4		108 (25)	21	8	50	29 (25)	鹿屋1件
5		123 (39)	23	4	55	41 (39)	鹿屋1件
6		92 (35)	16 (2)	4	39	33 (33)	沖縄1件
7		111 (33)	18	12	44	37 (33)	
8		117 (21)	24	5	63	25 (21)	
9		115 (35)	13	9	48	45 (35)	鹿屋1件
10		117 (42)	19	5	45	48 (42)	鹿屋1件
11		75 (27)	12	4	26	33 (27)	鹿屋1件
12		107 (50)	10	7	33	57 (50)	鹿屋2件
13		94 (39)	12	6	26	50 (39)	鹿屋2件
14		102 (45)	16	6	25	55 (45)	鹿屋2件
15		110 (65)	12	3	23	72 (65)	
16		110 (66)	11	12	14	73 (66)	
17		107 (74)	7	3	16	81 (74)	
18		129 (81)	6 (1)	3	23	97 (80)	鹿屋1件
19		122 (57)	11	1	30	80 (57)	鹿屋2件, 沖縄2件
20		132 (63)	16	2	35	79 (63)	鹿屋1件
21		92 (55)	6	4	23	59 (55)	
計		2,143 (890)	297 (4)	112	697	1037 (886)	沖縄分構成比
構成比率		100.0%	13.9%	5.2%	32.5%	48.4%	(41.5%)

- (注) 1 () 内は沖縄自衛隊出動件数の内書きである。
 2 便宜上、熊本郡には西之表市、大島郡には奄美市をそれぞれ含めている。
 3 平成7年、12年、14年、19年及び20年の鹿児島郡には、各年1件ずつ、離島外からの搬送を含む。

表-24 平成2年以降の月別及び時間帯別災害派遣（離島急患搬送）出動件数

年別 区分		2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
月 別	1	5 (1)	4 (1)	9 (3)	12 (5)	10 (4)	11 (4)	8 (1)	9 (2)	10 (2)	5 (1)
	2	11	8	6 (3)	5	7 (1)	12 (8)	12 (4)	11 (4)	13 (5)	5 (2)
	3	12 (2)	8 (1)	12 (2)	9 (1)	6 (1)	6 (1)	7 (2)	8 (3)	11 (6)	13 (5)
	4	4	8 (1)	5 (2)	6 (1)	7 (2)	7 (1)	7 (2)	15 (9)	13 (4)	4 (3)
	5	9 (1)	8 (3)	10 (2)	13 (2)	7 (5)	10 (4)	9	8 (2)	8 (3)	9 (4)
	6	4 (2)	9 (2)	7	8 (3)	6 (3)	7	7 (1)	7 (1)	9 (7)	2
	7	3	5 (2)	7 (1)	7 (2)	11 (5)	8 (2)	13 (1)	7 (2)	11 (6)	11 (5)
	8	10 (2)	8 (4)	8 (1)	11 (1)	5 (2)	11 (4)	14 (3)	12 (2)	10 (1)	5
	9	9 (2)	9 (2)	10 (4)	17 (8)	12 (6)	10 (4)	9 (2)	3 (1)	4 (1)	4 (2)
	10	7 (2)	7 (1)	14 (3)	13 (5)	8 (3)	15 (2)	10 (2)	14 (4)	10 (4)	3 (2)
	11	7 (4)	7 (1)	8 (2)	5 (2)	5	7 (2)	5 (1)	8 (1)	3 (1)	6
	12	8 (2)	10 (2)	12 (2)	17 (9)	8 (3)	7 (1)	16 (2)	13 (4)	15 (2)	8 (3)
計		89 (18)	91 (20)	108 (25)	123 (39)	92 (35)	111 (33)	117 (21)	115 (35)	117 (42)	75 (27)
時 間 別	0~2	2 (2)	2 (1)	3 (3)	2 (1)	6 (2)	2	6 (3)	3 (1)	2	4
	2~4	2 (2)		4 (1)	3 (2)	1	3 (2)	4	3	1 (1)	
	4~6	2		3 (2)	2 (2)	1	2	2	5 (2)	4 (2)	1 (1)
	6~8	4	3 (1)	5	2 (1)	2	5 (2)	6	7 (3)	4 (3)	3
	8~10	6	16 (1)	9 (1)	13 (3)	10 (3)	8 (1)	11 (2)	7 (3)	11 (6)	8 (4)
	10~12	16 (2)	14 (5)	18 (5)	19 (4)	18 (7)	17 (4)	13 (2)	20 (9)	17 (7)	8 (7)
	12~14	9 (1)	15 (2)	22 (4)	20 (11)	15 (6)	17 (3)	13 (1)	11 (1)	20 (7)	8 (3)
	14~16	18 (4)	11 (2)	12 (3)	17 (4)	12 (8)	21 (5)	18 (2)	13 (2)	15 (6)	11 (3)
	16~18	11 (3)	14 (6)	11 (3)	14 (3)	6 (2)	9 (1)	10 (3)	13 (5)	14 (4)	12 (3)
	18~20	9 (2)	5 (1)	6	16 (5)	10 (2)	13 (8)	18 (6)	21 (6)	10 (3)	8 (4)
	20~22	5	5 (1)	8 (2)	8 (1)	3 (1)	9 (5)	5	8 (2)	14 (2)	8 (2)
22~24	5 (2)	6	7 (1)	7 (2)	8 (4)	5 (2)	11 (2)	4 (1)	5 (1)	4	

(注) 1 ()内は沖縄自衛隊出動件数の内書きである。
 2 「時間帯」は、自衛隊への派遣要請時間である。

(年中)

12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	H2~21年
12 (8)	8 (5)	5 (2)	5 (2)	10 (6)	9 (5)	11 (5)	8 (4)	21 (11)	12 (5)	184 (77)
12 (6)	5 (3)	8 (5)	4 (4)	15 (10)	8 (8)	11 (8)	8 (3)	9 (4)	8 (8)	178 (86)
4 (1)	8 (2)	8 (4)	13 (5)	10 (4)	10 (7)	9 (7)	16 (10)	15 (6)	4 (4)	189 (74)
6 (3)	5 (2)	2 (1)	8 (5)	9 (5)	10 (7)	11 (7)	9 (6)	9 (3)	6 (4)	151 (68)
9 (6)	6 (1)	11 (3)	11 (9)	7 (6)	11 (7)	7 (6)	4 (1)	9 (6)	9 (5)	175 (76)
11 (6)	7 (5)	5 (4)	12 (5)	4 (3)	8 (6)	11 (5)	10 (4)	5 (3)	7 (6)	146 (66)
7 (4)	6 (3)	13 (7)	9 (5)	7 (4)	7 (6)	11 (7)	2 (2)	7 (4)	6 (5)	158 (73)
9 (4)	8 (2)	7 (4)	5 (3)	4 (2)	5 (5)	13 (7)	11 (6)	10 (5)	10 (5)	176 (63)
7 (1)	10 (4)	14 (3)	8 (7)	15 (11)	8 (5)	8 (4)	7 (3)	4 (2)	8 (3)	176 (75)
12 (4)	9 (4)	13 (5)	13 (5)	10 (7)	13 (10)	6 (5)	21 (8)	12 (4)	9 (5)	219 (85)
12 (5)	17 (4)	8 (2)	11 (7)	11 (6)	8 (4)	17 (9)	13 (4)	18 (8)	6 (1)	182 (64)
6 (2)	5 (4)	8 (5)	11 (8)	8 (2)	10 (4)	14 (11)	13 (6)	13 (7)	7 (4)	209 (83)
107 (50)	94 (39)	102 (45)	110 (65)	110 (66)	107 (74)	129 (81)	122 (57)	132 (63)	92 (55)	2143 (890)
5 (1)	2 (1)	6	10 (6)	6 (3)	3 (3)	6 (3)	2 (1)	6 (1)	9 (3)	87 (35)
5 (1)	5 (3)	9 (4)	2 (1)	2 (1)	4 (2)	3 (2)	2 (1)	4 (2)	2 (1)	59 (26)
10 (8)	6 (1)	3 (1)	2	5 (4)	4 (2)	5 (3)	5 (2)	3 (2)	3 (1)	68 (33)
4 (2)	2 (2)	3 (3)	3 (2)	6 (3)	10 (8)	5 (3)	7 (4)	3	2 (1)	86 (38)
11 (9)	6 (4)	11 (6)	19 (16)	13 (9)	7 (5)	11 (5)	13 (4)	13 (4)	4 (2)	207 (88)
9 (6)	12 (6)	12 (6)	21 (12)	21 (15)	14 (9)	21 (14)	19 (11)	12 (6)	13 (11)	314 (148)
4 (3)	8 (5)	8 (4)	9 (7)	11 (6)	11 (10)	19 (13)	11 (7)	15 (11)	11 (7)	257 (112)
8 (4)	8 (3)	8 (5)	6 (6)	12 (10)	8 (5)	5 (3)	10 (5)	18 (10)	9 (7)	240 (97)
14 (5)	16 (4)	12 (4)	12 (6)	9 (3)	14 (9)	18 (15)	10 (3)	11 (8)	11 (5)	241 (95)
17 (3)	8 (4)	16 (8)	5 (1)	11 (7)	9 (6)	13 (7)	21 (5)	11 (4)	10 (5)	237 (87)
10 (2)	9 (3)	9 (4)	14 (5)	9 (3)	14 (8)	11 (8)	13 (8)	13 (5)	7 (5)	182 (67)
10 (6)	12 (3)	5	7 (3)	5 (2)	9 (7)	12 (5)	9 (6)	23 (10)	11 (7)	165 (64)

表-25 平成21年中の市町村別搬送人員傷病別内訳

市町村別		傷病別 合 計	交通事故		労働災害		脳疾患	頭部損傷 (一般負傷)	産科・ 婦人科	小児科	内臓疾患	その他
			頭部	その他	頭部	その他						
鹿児島郡	三島村	1					1					
	十島村	5			1	1	1				2	
薩摩川内市		4		1							1	2
熊毛郡 (西之表市含)	西之表市	8		1			1		2	2	2	
	中種子町	1										1
	南種子町											
	屋久島町	14					5			2	7	
大島郡 (奄美市含)	奄美市	9 (5)							6 (2)		3 (3)	
	龍郷町											
	大和村											
	宇検村											
	瀬戸内町	1 (1)									1 (1)	
	喜界町	17 (17)	1 (1)				5 (5)				10 (10)	1 (1)
	徳之島町	3 (3)									3 (3)	
	天城町	3 (3)							2 (2)		1 (1)	
	伊仙町	11 (11)			1 (1)		5 (5)		1 (1)	1 (1)	2 (2)	1 (1)
	和泊町	7 (7)					1 (1)		3 (3)	2 (2)	1 (1)	
	知名町	4 (4)							2 (2)	2 (2)		
与論町	5 (5)								1 (1)	4 (4)		
計		93 (56)	1 (1)	2	2 (1)	1	19 (11)		16 (10)	10 (6)	37 (25)	5 (2)

(注1) ()内は、沖縄自衛隊搬送人員の内書きである。

(注2) 沖縄自衛隊への搬送要請において1回で2名の搬送が1件発生。

表-26 平成2年以降の離島急患搬送人員及び傷病別内訳

(年中)

傷病別 年別												
2	87 (17)	6 (3)	4	1		32 (3)	3 (1)	2 (2)	5 (1)	17 (3)	17 (4)	
3	93 (21)	3	5 (3)	3 (1)	7 (2)	21 (5)	1	6	5	20 (4)	22 (6)	
4	109 (25)	4	1		7	33 (4)	7 (1)	2 (2)	7	41 (15)	7 (3)	
5	125 (41)	1 (1)				54 (13)	8 (2)	10 (5)	5 (1)	30 (15)	17 (4)	
6	93 (33)	3 (2)	2 (1)		3	26 (12)	7 (4)	10 (3)	1	29 (9)	12 (2)	
7	115 (33)	1 (1)	3	1	4	35 (12)	10 (5)	10 (5)		49 (10)	2	
8	126 (25)	5 (1)	5 (1)		5 (2)	28 (4)	14 (2)	5 (2)	2 (2)	60 (11)	2	
9	116 (37)	1 (1)	2 (1)	4 (1)	5 (1)	32 (10)	3 (1)	3 (1)	11 (4)	51 (16)	4 (1)	
10	117 (43)	1 (1)	3 (2)		3	33 (11)	2 (1)	10 (6)	6 (1)	52 (18)	7 (3)	
11	75 (28)	2	1 (1)	1	1	13 (6)	5 (2)	6 (2)	4	37 (15)	5 (2)	
12	106 (51)	3 (2)	1 (1)		2	30 (18)	3 (3)	12 (6)	7 (3)	45 (18)	3	
13	92 (39)	1 (1)	2	2 (1)	5 (1)	20 (9)	2 (2)	4 (3)	5 (2)	41 (16)	10 (4)	
14	102 (46)	1 (1)	4 (3)		4 (2)	15 (5)	7 (3)	5 (4)	13 (8)	48 (18)	5 (2)	
15	110 (66)	2 (1)	2 (1)		4 (1)	30 (15)	3 (1)	12 (11)	10 (9)	38 (22)	9 (5)	
16	111 (66)	1 (1)	1 (1)		1	23 (11)	2 (1)	13 (8)	20 (16)	47 (28)	3	
17	103 (71)		1			21 (16)	4 (2)	21 (15)	5 (5)	46 (30)	5 (3)	
18	126 (79)		4 (4)	1 (1)	2 (1)	24 (9)		29 (20)	11 (7)	51 (35)	4 (2)	
19	117 (55)		1 (1)		4 (2)	19 (11)		21 (11)	15 (7)	47 (20)	10 (3)	
20	131 (64)	1	1		3 (1)	29 (17)	2 (1)	23 (9)	18 (11)	45 (21)	9 (4)	
21	93 (56)	1 (1)	2	2 (1)	1	19 (11)		16 (10)	10 (6)	37 (25)	5 (2)	

(注) 本表は、鹿屋の海上自衛隊第1航空群及び沖縄の陸上自衛隊第15旅団（内書き）が搬送した人員である。

第4 消防・防災ヘリコプターの活動

1 消防・防災ヘリコプターの導入

県では、大規模災害時における広範な消防防災活動を行うほか、急患搬送、災害危険箇所の調査点検などに幅広く活用するとともに、災害時の被害状況をよりの確かかつ迅速に把握するため、消防・防災ヘリコプター「さつま」を導入し、平成10年4月1日、運航拠点となる枕崎空港に防災航空センターを設置するとともに枕崎、指宿、南さつまの3消防組合・本部から派遣された消防職員6名で編成する鹿児島県防災航空隊を発足させた。

なお、平成21年10月1日から、ドクターヘリ導入までの間、消防・防災ヘリの積極的活用として、本土内の救急搬送を開始した。

2 消防・防災ヘリコプターの活動内容

消防・防災ヘリコプターは以下の活動を行うこととしている。

- (1) 災害応急対策活動
 - ア 被災状況等の調査及び情報収集活動
 - イ 食料、衣料その他の生活必需品及び復旧資材等の救援物資、人員等の搬送
 - ウ 災害に関する情報、警報等の伝達等広報宣伝活動
 - エ その他、災害応急対策活動上、特に、航空機による活動が有効と認められる場合
- (2) 救急活動
 - ア 山村、離島等からの救急患者の搬送
 - イ 傷病者発生地への医師搬送及び医療機材等の搬送
 - ウ 高度医療機関のない地域からの傷病者の病院搬送
 - エ 消防・防災ヘリの積極的活用としての本土内搬送
 - オ その他、救急活動上、特に、航空機による活動が有効と認められる場合
- (3) 火災防御活動
 - ア 林野火災等における空中からの消火活動
 - イ 被災状況調査及び情報収集活動
 - ウ 消防隊員、消防資機材等の搬送
 - エ その他、火災防御活動上、特に、航空機による活動が有効と認められる場合
- (4) 救助活動
 - ア 河川、海等での水難事故、山岳遭難事故等における捜索または救助
 - イ 高層建築物火災における救助
 - ウ 山崩れ等の被害により、陸上から接近できない被災者等の救助
 - エ 高速道路及び自動車専用道路での事故救助
 - オ その他、救助活動上、特に、航空機による活動が有効と認められる場合
- (5) 広域航空消防防災応援活動
 - ア 県が締結している他県との相互応援協定等による相互応援
- (6) 災害予防活動
- (7) 自隊訓練のための活動
- (8) 各種防災訓練等への参加等
- (9) その他知事が必要と認める活動

表-27 消防・防災ヘリコプター「さつま」の諸元・性能

型 式	ベル式412EP型
定 員	15名
最 大 全 装 備 重 量	5,398kg
空 虚 重 量	3,124kg
有 効 搭 載 量	2,274kg
航 続 距 離	656km
最 大 巡 航 速 度	259km/h
限 界 高 度	6,096m
全 長	17.1m
全 幅	2.9m
全 高	4.6m
消 火 用 水 積 載 量	1,400ℓ (ドロップタンク)

表-28 消防・防災ヘリコプターの運航状況

(平成21年)

区分	月別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計	総計	
緊急運航	災害応急対策活動	件数			1	1				1	6			9	78件 116時間25分	
		時間			1:00	0:55				2:10	9:10			13:15		
	救急活動	件数	3	1	5	4	5	6	6	6	6	4	2	3		51
		時間	6:40	1:20	7:15	6:35	6:10	8:00	9:25	10:10	7:20	5:00	4:15	4:05		76:15
	火災防 御活動	件数						1								1
		時間						1:00								1:00
	救助活動	件数	1	1	1	2	2		7		2			1		17
		時間	0:40	2:15	0:40	4:20	2:25		12:15		2:05			1:15		25:55
	広域応援	件数														0
		時間														0:00
災害予防活動	件数									2	2			4	4件 7時間15分	
	時間									4:25	2:50			7:15		
合同訓練	他県広域関係	件数	1											1	35件 34時間20分	
		時間	0:50											0:50		
	県市町村関係	件数	4		2		4	1	1	3	3	3	1			22
		時間	2:40		2:45		4:35	0:45	1:10	3:40	3:50	2:20	0:30			22:15
	合同訓練 事前訓練	件数	1	1			3		1	1	2	1		2		12
		時間	0:40	1:30			2:40		1:00	1:20	1:45	0:55		1:25		11:15
自隊訓練	件数	7	8	19	10	5	9	10	8	2	2	4	9	93	93件 124時間15分	
	時間	8:45	8:55	0:05	12:40	12:05	10:15	16:10	11:55	2:35	2:05	4:00	10:45	124:15		
その他	件数	1	2							2	3	4	1	13	13件 19時間45分	
	時間	2:25	7:20							2:30	1:55	5:05	0:30	19:45		
合計	件数	18	13	28	17	19	17	25	19	25	15	11	16	223	223件 302時間00分	
	時間	22:40	21:20	35:45	24:30	27:55	20:00	40:00	29:15	33:40	15:05	13:50	18:00	302:00		

表-29 消防・防災ヘリコプターの活動状況（H21年中）

(1) 災害応急対策活動状況

件数	回数	月 日	災害種別	発 生 場 所	時 間
1	1	3/10	ア	鹿児島市桜島昭和火口	1:00
2	1	4/9	ア	鹿児島市桜島昭和火口	0:55
3	1	8/28	ア	十島村諏訪之瀬島御岳	2:10
4	1	9/8	ア	三島村近海	1:30
5	1	9/12	ア	三島村近海	1:25
6	1	9/13	ア	三島村近海	2:00
7	1	9/16	ア	三島村近海	1:00
8	1	9/17	ア	三島村近海	1:45
9	1	9/18	ア	三島村近海	1:30
9件 9回 13時間15分					

(2) 救急活動状況

件数	回数	月 日	災害種別	発 生 場 所	搬送人員	時 間
1	1	1/5	ウ	鹿児島市	1	3:30
2	1	1/14	ア	三島村(竹島)	1	1:15
3	1	1/20	ウ	薩摩川内市	1	1:55
4	1	2/18	ウ	西之表市	1	1:20
5	1	3/4	ウ	薩摩川内市(下甑)	1	1:05
6	1	3/9	ウ	屋久島町(口永良部島)	1	1:40
7	1	3/11	ウ	屋久島町	1	1:35
8	1	3/24	ウ	西之表市	1	1:20
9	1	3/29	ウ	屋久島町	1	1:35
10	1	4/9	ア	十島村(平島)	1	2:35
11	1	4/13	ウ	西之表市	1	1:10
12	1	4/14	ア	三島村(竹島)	1	1:00
13	1	4/27	ウ	鹿児島市	1	1:50
14	1	5/3	ア	三島村(黒島)	1	1:15
15	1	5/9	ウ	西之表市	1	1:15
16	1	5/19	ウ	薩摩川内市(下甑)	1	1:05
17	1	5/23	ウ	屋久島町	1	1:25
18	1	5/27	ウ	西之表市	1	1:10
19	1	6/8	ウ	南種子町	1	1:25
20	1	6/9	ウ	屋久島町	1	1:20
21	1	6/9	ウ	薩摩川内市(下甑)	1	1:00
22	1	6/16	ウ	屋久島町	1	1:35
23	1	6/17	ウ	薩摩川内市(下甑)	1	1:00
24	1	6/22	ウ	屋久島町	1	1:40
25	1	7/8	ウ	屋久島町	1	1:25
26	1	7/13	ウ	出水市	1	1:45
27	1	7/17	ウ	鹿児島市	1	2:00
28	1	7/22	ウ	屋久島町	1	1:30
29	1	7/28	ウ	出水市	0	0:40
30	1	7/29	ウ	出水市	1	2:05
31	1	8/15	ウ	屋久島町	1	1:35
32	1	8/16	ウ	西之表市	1	1:10
33	1	8/22	ア	十島村(小宝島)	1	3:10
34	1	8/26	ウ	西之表市	1	1:10
35	1	8/27	ウ	西之表市	1	1:35
36	1	8/30	ア	三島村(黒島)	1	1:30
37	1	9/3	ウ	西之表市	1	1:05
38	1	9/6	ア	三島村(竹島)	1	1:10
39	1	9/6	ウ	屋久島町	1	1:30
40	1	9/16	ウ	西之表市	1	1:30
41	1	9/18	ウ	鹿屋市	1	0:50
42	1	9/29	ウ	屋久島町	1	1:15
43	1	10/2	エ	出水市	1	1:50
44	1	10/9	ウ	西之表市	1	1:15
45	1	10/12	ウ	薩摩川内市(下甑)	1	1:05
46	1	10/13	エ	鹿屋市	1	0:50
47	1	11/18	ア	十島村(宝島)	1	3:20
48	1	11/21	エ	鹿屋市	1	0:55
49	1	12/1	ウ	薩摩川内市(上甑)	1	1:15
50	1	12/10	ウ	屋久島町	1	2:10
51	1	12/17	エ	指宿市	1	0:40
51件 51回 76時間15分						

(3) 火災防御活動状況

件数	回数	月 日	災害種別	発 生 場 所	時 間
1	1	6/1	イ	志布志市(山林)	1:00
1件 1回 1時間00分					

(4) 救助活動状況

件数	回数	月 日	災害種別	発 生 場 所	時 間
1	1	1/12	オ	南大隅町(佐多岬)	0:40
2	1	2/25	ア	薩摩川内市, いちき串木野市(海上)	2:15
3	1	3/25	ア	指宿市(開聞岳)	0:40
4	1	4/16	ア	肝付町(海上)	2:20
5	1	4/28	ア	屋久島町(口永良部島新岳)	2:00
6	1	5/3	ア	霧島市(高千穂)	1:10
7	1	5/10	ア	霧島市(高千穂)	1:15
8	1	7/19	ア	屋久島(太忠岳)	1:15
9	1	7/22	ア	南九州市(海上)	2:25
10	1	7/23	ア	南九州市(海上)	2:00
11	1	7/23	ア	南九州市(海上)	2:00
12	1	7/24	ア	南九州市(海上)	0:50
13	1	7/30	ア	屋久島(愛子岳)	2:35
14	1	7/30	ア	南九州市(海上)	1:10
15	1	9/5	ア	屋久島町(海岸)	1:25
16	1	9/20	ア	指宿市(開聞岳)	0:40
17	1	12/27	ア	南さつま市(海上)	1:15
17件 17回 25時間55分					

(5) 各種防火訓練等への参加等

件数	回数	月 日	訓練内容	訓練名及び実施場所	時 間
1	1	1/4	救助	南さつま市消防出初め式	0:25
2	1	1/11	救助	鹿児島市消防出初め式	0:45
3	1	1/14	要員搬送	桜島火山爆発総合防災訓練	0:40
4	1	1/30	火災防御	九州管区内警察広域緊急援助隊訓練	0:50
5	1	1/31	要員搬送	原子力防災訓練	0:50
6	1	3/1	火災防御	阿久根市合同訓練	1:35
7	1	3/3	火災防御	鹿児島市南消防署合同訓練	1:10
8	1	5/17	救助・DMAT搬送	鹿児島県総合防災訓練	1:10
9	1	5/20	情報収集	鹿児島市桜島火山対策調査	1:10
10	1	5/24	救助	垂水市総合防災訓練	0:55
11	1	5/31	救助	肝付町総合防災訓練	1:20
12	1	6/1	離着船訓練	皆既日食に伴う海上保安庁との合同訓練	0:45
13	1	7/31	救助	加治木町総合防災訓練	1:10
14	1	8/4	救助	大隅肝属地区消防組合との合同訓練(患者搬送訓練)	1:00
15	1	8/26	救急・救助	薩摩川内市消防局との合同訓練	1:50
16	1	8/30	救助	日置市総合防災訓練	0:50
17	1	9/1	救急・情報収集	鹿児島市「防災の日」総合演習	0:50
18	1	9/5	救助	曾於地区総合防災訓練	1:20
19	1	9/6	救助	長島町総合防災訓練	1:40
20	1	10/8	救助	鹿児島県石油コンビナート総合防災訓練	0:10
21	1	10/9	救助	指宿市開聞岳山岳救助訓練	1:00
22	1	10/15	要員搬送	離島火山対策点検・防災訓練	1:10
23	1	11/27	救急	南薩地区消防組合との合同訓練(患者搬送訓練)	0:30
23件 23回 23時間05分					